

ならコープは奈良大和の地で培われた「共生」の風土を受け継ぎ、奈良県の自然と文化を守り発展させ、次世代へと繋げていきます。

" たすけあい ささえあい わかちあい "

奈良県は、人口の集中する北部の奈良盆地、盆地を取り囲む生駒山地、金剛山地、大和高原、宇陀山地、そして南部の吉野地方に区分されます。昔から奈良盆地を「国中(くんなか)」、山間部を「山中(さんちゅう)」とよび、人や物資の往来を通じて共存共栄してきました。その「山中」の人口の高齢化、過疎化が急速にすすみ、さまざまな地域問題をかかえています。わたしたちならコープは、北部の人口集中地域の奈良盆地と南部・東部の「山中」との「人、もの、サービス」の交流を深め、「山中」のくらしと経済を元気にする活動、そして、多数の組合員による「たすけあい・ささえあい・わかちあい」の共同社会づくりを実現するために「吉野共生プロジェクト」を立ち上げました。

吉野共生プロジェクトは、吉野の森と水を守るための募金活動から始まりました。このプロジェクトの4つの柱は、

①: 吉野の森と水の保全 ②: 吉野の自然、文化、歴史の継承 ③: 吉野の産業振興、地域経済の自立化支援 ④: 多数の組合員によるたすけあい・ささえあい・わかちあいです。この4つの柱を4つの取り組みで実現します。



吉野共生プロジェクト **4つの柱**



吉野の 森と水の保全



吉野の自然、 文化、歴史の継承



吉野の産業振興、 地域経済の自立化支援



多数の組合員による たすけあい、ささえあい、 わかちあい

ゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕゕ

「食べる"なら"大和」

奈良県域内流通としての地産地消、 地域産品の開発と普及

林業とビジネス

水ビジネス、バイオマス、 環境教育と林業、間伐材の活用

吉野共生プロジェクト

再生可能エネルギーの拡大 再生エネルギーの開発・売電事業、 自家発電装置・蓄電装置の 事業所設置

医療・福祉・介護

奈良県医療福祉生協、 社会福祉法人 協同福祉会との 事業提携、関係づくり

吉野共生プロジェクト推進委員会

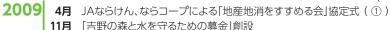
ならの元気は吉野から

人と人とのふれあいを大切にしながら、自然とふれあい、吉野地域の活性化をめざします。

「たすけあい・ささえあい・わかちあい」をテーマに、ならコープは、 県民のくらしと地域社会に役立つ組織でありたいと考えています。

野共生プロジェクトの歩み

) 内は写真番号



奈良県、奈良県生協連との「災害時における緊急物資供給協定」を締結

「吉野の森と水を守るための募金」を活用して吉野山の龍王院所有地に植林 2011

奈良県との「高齢者の生活支援に関する連携協定」を締結 台風12号被害対策本部を設置、被災者救援と被災地振興のために災害救援募金を 開始(②)

2012 吉野共生プロジェクト推進委員会発足

2010

6月 県南部9自治体との「災害時の物資供給協定」の締結

11月 吉野の森と水を守る運動「大淀町で植樹祭」を開催(③)

2013 夕食宅配事業が東吉野村の高齢者配食サービスと業務提携(④)

近畿労働金庫との「災害時相互支援基本協定」の調印式 11月

11月 南部地域産業復興推進大会「なんゆう祭」(川上村)に参加(⑤)

2014 吉野町殿川地区多目的集会所にLED照明器具10基を寄贈(⑥)

3月 「コープあったか便移動店舗」運行開始

10月 南部東部地域活性化イベント「なんゆう祭(2014)」(五篠市)に参加(⑦)

2015 水源地の村・川上村「未来の風景づくり」第1回植樹

4月 「奈良の木」を使った贈り物開発プロジェクト会議への委員参加

6月 川上村との包括連携協定を締結(⑧)

6月 ㈱CWSが、再生可能エネルギー等の電源開発調査、発電を目的に㈱コープエナジー

10月 南部東部地域活性化イベント「奥大和ゆうゆう祭」(宇陀市)に参加(⑨)

2016l 奈良県との「連携と協力に関する包括協定」を締結(⑩)

> 5月 「奈良桜よしの天然水」「フリルレタス(水耕栽培)」「農産物集荷事業」などの事業拠点 となる吉野事業所(ハートフルコープよしの/就労継続支援A型事業所)の設立(⑪)

> 8月 吉野事業所と吉野町西谷自治会による「清流西谷の川と湧水恵みのプロジェクト アユ·アマゴつかみどりIN西谷」を開催(⑩)

> 9月 再生可能エネルギーや省エネルギーの普及を目的に「再エネ協同基金」を創設し、 基金を管理、運用する「一般財団法人再工ネ協同基金」を設立(③)

10月 川上村東部地区での無店舗事業の運用を川上村が運営する「一般社団法人かわかみ らいふ」に委託し、買い物支援事業を開始(個)

10月 県南部東部地域活性化イベント「奥大和ゆうゆう祭2016」(吉野町)に参加

11月 吉野町、㈱南都銀行との「3者による包括連携協力に関する協定書」を締結(⑮)

12月 ㈱CWSが小売電気事業者登録を完了し、ならコープグループ事業所への電気供給を

2017 組合員向け小売電気事業「ならコープでんき」の供給を開始

奈良桜よしの天然水の試供品として500mlペットボトルを商品化

7月 ならコープグループで支援をしてきた「つくばね発電所」が、発電事業を開始(⑰)

8月 第2回「清流西谷の川と湧水恵みのプロジェクトアユ·アマゴつかみどりIN西谷」を開催

10月 ハートフルコープよしのに就労継続支援A型田原本事業所の認可。倉庫業を開始。

10月 川上村ふれあいセンターで(一社)かわかみらいふ1周年記念大感謝祭に出展(⑱)

10月 吉野事業所に隣接する吉野町敷地において「吉野の森と水を守るための活動」として 植樹祭を開催

2018 つくばね発電所で発電した電気の組合員向け供給を開始

4月 川上村と全国生協初の「地域おこし」人材交流(9)









④2013年9月





62014年1月

⑦2014年10月





⑧2015年6月



@2016年4日

⑪2016年5月





⑩2016年8月

③2016年9月









⑯2016年12月

182017年10月



吉野地域の関連商品

ならコープ各店舗やJAならけん農産物直売所で「食べる "なら"大和]ブランドの商品を紹介しています。



吉野の南高梅(梅酒用) 山本農園

奈良県五條市 西吉野町

奈良県五篠市西吉野町山本農園。賀名生 梅林で有機配合肥料を使用して栽培して

梅干用(漬け梅用)と比較して青めのもの をお届けします。梅酒や梅ジュースで。



食べる"なら"大和ブランド



JAならけんととも に開発する地産地消ブランド。 ならコープの各店舗やJAならけ ん農産物直売所で積極的に展開 をすすめています。



奈良ひのひかり 全農パールライス(株)

吉野。

ならコープ・JAならけんが協同し、 奈良ひのひかり1キロの利用につき1円が、「吉野の森 と水を守るための基金したなります。

おいしいお米を食べることが、おいしい水を守ること - に繋がります。





魚を柿の葉で包むことで保存性が高まり、 ほんのりと柿の葉の香りのする逸品となり





富有柿

西吉野産直組合

柿の生育に適した環境である 西吉野地域は、全国有数の柿 の産地です。

甘柿の王様と呼ばれる富有柿 は、甘みも強く、肉厚、果肉の やわらかさで定評があります。



やたがらす純米酒 🥥 ならコーフ (株)北岡本店





吉野町で生まれた、すっきりとし た味わいの純米酒です。

北岡本店奈良県南部、吉野熊野 国立公園の入り口、吉野川に沿う 地に酒蔵があり、日々酒造りに取 り組んでいます。



十津川なめこ(洗い)



上湯川きのこ 生産組合



水のきれいな十津川村で栽培。 袋から出してそのまま調理して ください。

吉野のぶなしめじ 山本きのこ園





吉野町で栽培されたぶなしめじ。 少量で案内しています。



いきなり団子(深吉野よもぎ) 俵山交流館 萌の里

> 熊本名物いきなり団子の生地に、奈良・ 東吉野村のよもぎを練り込みました。 元々山野に自生している地域資源の「よ もぎ」に注目し、奈良県東吉野村で、休耕 田を利用し栽培した「深吉野よもぎ」を 団子に使用しています。

地産地消おせち3段重



少ないレタスです。

奈良女子大学のみなさんと開発した オリジナルおせちです。

「下北春まな」、「宇陀の黒豆」など、 奈良の食材をふんだんに使用しまし た。奈良県産食材、伝統を「食べて、 見て」感じることができる逸品です。



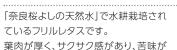
奈良桜よしの天然水

(株)ハートフルコープよしの



世界遺産・吉野大峯、桜の名所としても知られる吉野町。この地 域は山々によって育まれた豊富な水資源に恵まれています。 そんな自然豊かな吉野の里の澄んだ味わいを宅配水でお楽し みいただけます。

フリルレタス (株)ハートフルコープよしの





県南部・東部地域の組合員や 住民とのふれあいの場を増やします

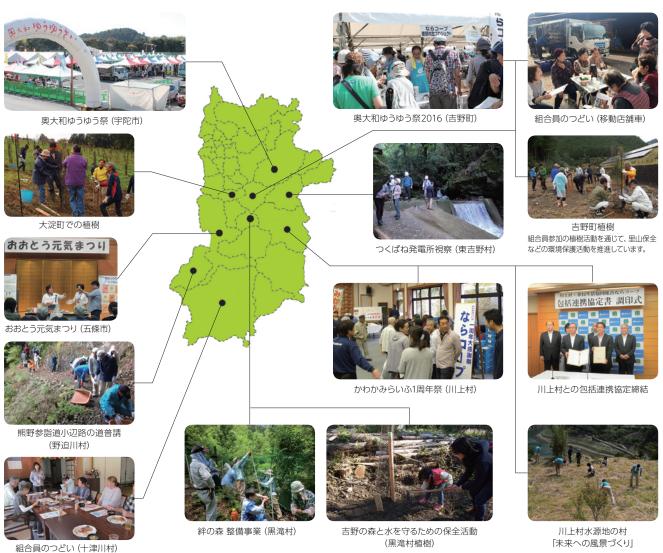
🜟 コープあったか便移動店舗(2014年3月より運行開始!)

買い物困難者は県内でも増加傾向にあり、「近所には買い物ができるところがない」「遠隔地のお店を訪れる手段がない」などの声に応え、2014年3月から移動店舗車を運行しています。1号車はコープ学園前、2号車(2015年5月運行開始)はコープみみなし、3号車(2017年11月運行開始)はコープたかだを拠点に、奈良市・大和郡山市・天理市・橿原市・桜井市・生駒市・葛城市・宇陀市・安堵町・明日香村・東吉野村へ運行しています。1~3号車を合わせた1週間の停留所数は、125箇所となりました。ならコープは、これからも組合員が安心してくらしていけるよう、地域からの声に応える取り組みを広げていきます。



移動店舗3号車の運行

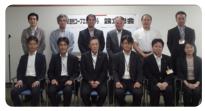
★ 県南部・東部の魅力を再発見! 「奥大和ゆうゆう祭」と「各地での植樹」、「かわかみらいふ1周年祭」、「未来への風景づくり」などの取り組み



組合員のくらしに貢献する エネルギー分野の取り組み

現在、私たちがエネルギー源として大きく依存している化石燃料や原子力は、CO₂排出による温暖化や環境汚染リスクも懸念される有限資源であり、将来にわたり持続可能なエネルギー源とは言えません。

ならコープグループでは「2020年に向けた新たな環境政策」で創立以来の基本理念に基づき、奈良県の豊かな自然と文化を守り、次世代の子どもたちに引き継ぐため環境にやさしい地域づくりをすすめています。



「株式会社コープエナジーなら」を設立



田原本発電所



東吉野水力発電(株) (つくばね発電所) 復活への支援



ペレットストーブの 事業所設置



真庭市バイオマスツアー (岡山県真庭市)



電気自動車50台の事業所配置



うだ夢創の里市民共同発電所 点灯式



マイバッグ運動



ならコープ本部発電所



太陽光発電モニター (コープ七条)



自然冷媒使用の冷ケース (コープなんごう)



店舗でのライトダウンキャンペーン (2003年~実施)



つくばね発電所 (新人職員研修)



再エネ協同基金設立記念学習会



環境学習会「SDGsってなに?」



夏休み工作教室_ソーラークッカーを作ろう



かしこくなるエネルギー講座



小又川発電所増強調査 (下北山村)

よりよいくらしのために



★「たすけあい、ささえあい、わかちあい」の協同理念に基づき、"市民生活協同組合" の可能性を広げる新しい領域での取り組みがスタートしています。

ならコープは、第11次中期計画(2016~2018年度)において、さらなる組合員へのお役立ちと組合員の願いを実現するために、未来づくりに向けた投資をすすめています。それらの投資を元に新たな事業とサービスの領域を開拓し、「消費者"市民"社会づくリ」と「100年続く生協」をめざします。また組合員のくらし全般を支えるさなざまなサポート活動をすすめるとともに、次世代の子どもたちに奈良の豊かな環境を引き継ぐため、環境を守る取り組みをこれからもすすめていきます。

●吉野事業所の開設

2016年5月に設立された吉野事業所は、地元で湧き出る天然水を使用した宅配水事業(奈良桜よしの天然水)や水耕栽培(フリルレタス)など、新たな分野への挑戦と吉野地域の拠点として農産物集荷事業を開始しました。これらの事業は、障害者総合支援法に基づく就労機会を提供する施設として㈱ハートフルコープよしのに運営を委託することにより、人と地域をつなげる拠点へと歩み始めることができました。

●(一社)かわかみらいふとの協業

川上村との「水源地の村づくりに関する包括連携協定」(2015年6月)、「東部地区暮らしがつづく集落づくりプロジェクト」(2015年12月)に基づく協働事業として2016年10月から買い物支援事業を開始しました。川上村東部地区での宅配事業を川上村が運営する「一般社団法人かわかみらいふ」に委託し、商品の配達だけに止まらない住民サービスとして展開しています。村内における雇用とサービスの創出と交流の場づくりを目的とした同法人との協業は全国から注目されています。利用者数は約93人(2017年度末)で5人のスタッフが商品配達時に困りごとの解消や見守り活動をおこなっています。



2018年4月、川上村は、総務省の「地域おこし企業人交流プログラム」を活用して、ならコープから人的支援を受け、そのノウハウや知見を活かしてさらなる村の魅力発信やくらしの価値化、地域資源の利活用に取り組みます。生活協同組合の職員が地方公共団体のむらづくりに参画することは全国初で、ならコープ職員は、川上村に出向し、(一社)かわかみらいふの事業推進を担うとともに、村民の生活支援の拡充に取り組みます。

●吉野町、㈱南都銀行との「包括連携協力に関する協定」を締結

2016年11月、ならコープは吉野町、㈱南都銀行と包括連携協力に関する協定書を締結しました。この度の協定では、3者連携のもと地域の発展および地域活力の増進、地域経済の発展および住民サービスの向上をめざし、連携した地域での取り組みをすすめてまいります。

行政との連携=

●災害時物資協定を全市町村と締結

災害時の緊急物資の支援をしていくため、奈良県をはじめ県内39全ての市町村と協定を結びました。地域での安心・安全なくらしを支えることが、地域の発展に繋がると考えています。

●行政と連携した見守り協定(20自治体)

奈良県、とくに吉野地域は高齢化が進んでおり、外出が困難な方もいらっしゃいます。 県全域で見守り協定の締結をすすめ、お買い物支援や夕食宅配サービスなどを通して高齢者の生活を見守っています。

(協定締結行政)

奈良県、奈良市、平群町、香芝市、三郷町、川西町、桜井市、広陵町、葛城市、 宇陀市、田原本町、高取町、明日香村、三宅町、生駒市、大和郡山市、橿原 市、天理市、**御所市、大淀町**



吉野事業所



水製造業



フリルレタスの水耕栽培



(一社)かわかみらいふとの協業



川上村価値創造プロジェクト調印式



吉野町植樹祭



地域での防災訓練 (桜井支所・高田支所)



災害時物資供給協定締結 (大淀町)



御所市見守り協定締結式



大淀町見守り協定締結式

"たすけあい ささえあい わかちあい"

吉野の未来を、共につくる…









私たちも応援しています。

○吉野町長 北岡 篤 ○川上村長 栗山 忠昭 ○御杖村長 伊藤 収宜 ○曽爾村長 芝田 秀数 ○宇陀市長 髙見 省次 ○五條市長 太田 好紀 ○大淀町長 岡下 守正 ○下市町長 杦本 龍昭 ○東吉野村長 水本 実 ○黒滝村長 辻村 源四郎 ○十津川村長 更谷 慈禧 ○野迫川村長 角谷 喜一郎 ○下北山村長 南 正文 ○天川村長 車谷 重高 ○上北山村長 山室 潔 ○山添村長 森中 利也

○二シキ醤油株式会社 代表取締役 大方 豊 ○巽製粉株式会社 代表取締役 巽 弘典 ○株式会社山食 代表取締役社長 山□ 敦史 ○株式会社若草食品 代表取締役社長 上杉 幸作 ○株式会社マンヨー 代表取締役 土井 正治

○ミヅホ株式会社 代表取締役 大西 甚吾 ○株式会社味の大和路 代表取締役 宇恵 善和 ○株式会社北岡本店 従業員一同

○株式会社クラプコスメチック 専務取締役 高橋 清 ○堺共同漬物株式会社 代表取締役 林野 雅史

○大和ハウス工業株式会社 奈良支店長 井上 富重 ○丸中水産株式会社 代表取締役社長 中村 洋祐

○三重県漁業協同組合連合会 鮮冷加工部 加工直販課 ○株式会社きかんしエムエス 代表取締役社長 小牧 俊典

○吉野中央森林組合 代表理事組合長 坂□ 勝美 ○株式会社三井住友銀行 奈良法人営業部

○株式会社三菱東京UFJ銀行 奈良支店 ○株式会社ゆうちょ銀行 奈良支店長 ○株式会社南都銀行 南支店長

○近畿労働金庫 奈良地区統括本部長 ○コア100賀川 世話人一同 ○社会福祉法人協同福祉会 理事長 村城 正

○株式会社奈良コープ産業 代表取締役社長 米田 季弘 ○株式会社CWS 代表取締役社長 中村 和次

○奈良県医療福祉生活協同組合 理事長 仲宗根 迪子 ○株式会社ハートフルコープなら 代表取締役 竹村 彰

○株式会社ハートフルコープよしの 代表取締役 竹村 彰 ○株式会社コープエナジーなら 代表取締役 中村 和次

○奈良県生活協同組合連合会 会長 森 宏之 ○一般財団法人 再工ネ協同基金 理事長 瀧川 潔

※順不同 (2018年5月現在)

協同組合がよりよい社会を築きます



奈良市恋の窪一丁目2番2号 ホームページ http://www.naracoop.or.jp/